

長崎県佐世保市宇久町のシマモクセイ (ナタオレノキ) *Osmanthus insularis* Koidz (モクセイ科) について

川内野 善 治¹⁾

About an *Osmanthus insularis* Koidz of Uku-cho, Sasebo-shi, Nagasaki

Yoshiharu KAWACHINO¹⁾

はじめに

佐世保市内では宇久島にのみ自然分布とみられるシマモクセイがある。

十川には佐世保市の天然記念物に指定されているものがあり、本飯良狩立には9株がある。

分 布

本州 (福井県以西)・八丈島・四国・九州・小笠原・琉球・台湾・朝鮮。

長崎県内 (外山1980 長崎県植物誌) では五島 (男女群島・玉之浦・七岳・富江・岐宿・黄島・奈留島・北魚目・宇久島), 平戸 (阿値賀島・前津吉), 多良岳, 対馬 (神崎・豆酸・佐護) に分布。

なお, (外山1985 長崎県の天然記念物) には五島市奈留町船廻の船廻神社社叢にはシマモクセイの目通り幹周り1m以上のものだけで15本。幹周り3.5mと3.3mのものがあると書かれている。

分布状況

宇久町十川には民家の裏の崖地に二株があり, うち一株は昭和41年10月22日に市の天然記念物に指定されている。

文化財台帳では幹周り310cmと290cmとある。環境省の巨樹の条件である, 高さ1.3mの幹周りを測定したところ, 幹周りは296cm樹高12m

と251cm樹高12mであった (図1)。

もう一箇所の生育地である本飯良狩立では, 民家の庭に幹周り195cmと160cmの2株。さらに裏山に幹周り222cm, 170cm, 142cm, 164cm (空洞で倒れている), 159cm, 150cm+43cm, 115cm

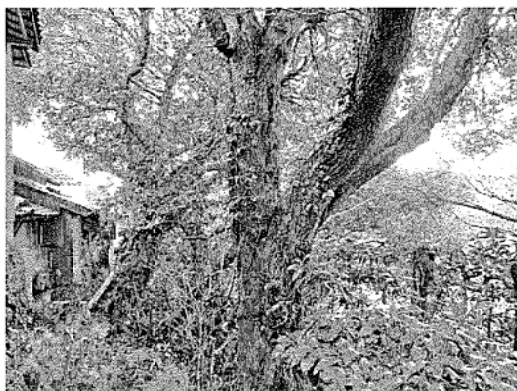


図1 佐世保市天然記念物



図2 民家の裏のシマモクセイ

¹⁾ 〒859-6405 長崎県佐世保市世知原町開作427-5

で樹高は12～15mである。9株もの株がまとまって生育しており貴重な群落である (図2)。

環境省で1988年と2000年に行われた巨樹巨木林調査結果を基に構築された全国巨樹・巨木林データベースに登録されているシマモクセイは二株のみで、愛媛県越智郡魚島村の600cmと長崎県福江市の幹周り325cmの株立ち(樹高8m)で主幹は215cmである。

これから、見ると佐世保市の天然記念物に指定されている幹周り296cmの株は立派なものである。

文 献

- 外山三郎 1980. 長崎県植物誌. 長崎県生物学会
外山三郎 1985. 長崎県の天然記念物. 長崎県理科教育協会・長崎県生物学会

資 料

- 全国巨樹・巨木の会ホームページ
<http://www.kyojyu.com/>